

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	青少年の育成			
施策の体系	基本目標	ひとを育むまち	施策の担当課名	生涯学習課
	基本施策	心とからだ育成プロジェクト	関係課名	—
	施策コード	B-4-3		

① 施策の現状と課題	<p>青少年期は、人間形成における最も重要な時期であり、社会の一員としての生活の基礎を確立し、社会に貢献するとともに、能力や適性などに応じて活躍の場を広げていく時期です。</p> <p>しかし近年、核家族化・少子高齢化の進行、物質的な豊かさなど、青少年を取り巻く環境がめまぐるしく変化する中で、青少年の非行や青少年の関わる犯罪などの様々な問題が深刻さを増してきています。</p> <p>このため、有害な環境の浄化など青少年の健全育成のための環境づくりを進めるとともに、体験学習の機会の拡充など青少年の社会参加促進に向けた取り組みが欠かせません。</p> <p>現在、本市では、地域・学校・警察などで構成する「行橋市青少年育成市民会議」を中心に、年間を通じて行橋駅周辺での声かけ活動やゲームセンターでの夜間パトロールなどを行っています。また、学校外活動の推進として校区公民館での子ども講座や地域アンビシャス広場を開催しています。</p> <p>今後は、地域、学校、家庭はもとより警察などの関係機関・団体と連携を強化して、社会全体で青少年の健全育成及び非行・犯罪の防止に努めるとともに、青少年の問題行動への適切な指導に加え、立ち直りを推進する支援活動を行う必要があります。また、青少年が自ら進んで参加し、充実感や達成感を味わえるような自然体験、ボランティア活動などを推進し、社会との関わりから自己の確立が図れるよう、地域社会との交流の場の提供を図る必要があります。</p>
② 施策の基本方針	<p>青少年の健全な育成に向けて、関係団体との連携を深めるとともに、地域全体での非行防止や安全確保に努めます。青少年が社会で生きる力と創造力を身につけながら健やかに成長し、地域と共生しながら自己の確立が図れる環境づくりを推進します。</p>

③ 施策の内容 (主要施策)	<p><b>主要施策名(1) 健全育成活動の推進</b></p> <p>青少年の非行や問題行動を未然に防ぐため、家庭・学校・地域・関係機関などと連携した有害環境の浄化活動や街頭補導活動、立ち直り支援活動を強化するとともに、いじめや不登校など、様々な不安や悩みに適切に対処した相談体制の充実に努めます。</p> <p>また、地域での青少年育成機能の強化のため、「行橋市青少年育成市民会議」や「行橋市子ども会育成連合会」等の各種団体を支援し、次代を担うリーダーの育成を図ります。</p>
	<p><b>主要施策名(2) 健全育成のための環境づくり</b></p> <p>校区公民館において様々なテーマを掲げた子ども講座等を開催し、地域人材を活用した放課後及び休日における児童の安全な交流活動の場の提供と支援を図ります。</p> <p>地域におけるボランティア活動、世代間交流、社会体験など、青少年が主体的に携わることができる活動への参加を推進します。</p>
	<p><b>主要施策名(3)</b></p>
	<p><b>主要施策名(4)</b></p>
	<p><b>主要施策名(5)</b></p>

④ 目標指標	指標名(単位)	過年度実績				評価年度	目標値		達成度の説明 (H26年度)
	「青少年の非行・被害防止全国強調月間」推進大会参加人数(人)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	組織構成団体へ参加連絡を周知徹底できたため
		357	357	376	381	377	400	430	
	行橋市インリーダー研修参加者数(人)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	24年度は春季開催時、インフルエンザ・ノロウィルスの流行により参加者が激減した
		22	49	15	51	63	55	40	
校区公民館子ども講座参加延人数(人)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	児童に好まれる工作や昔遊びなどの体験型講座を充実させたため。目標値を2900人→3100人へ変更	
	2,053	2,189	2,803	3,002	3,360	3,020	3,100		
「少年の船」参加人数(人)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	参加費の引き上げや事業のマンネリ化が影響しているものと思われる。交通手段や旅行日程等の見直しを検討	
	50	53	34	29	40	50	60		
	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度		

⑤ 施策構成 事務事業	事務事業名	事務事業の内容	事業費(人件費込、単位:千円)			優先順位	
			H25年度実績値	H26年度実績値	H27年度見込額		
	1	行橋少年の船実行委員会補助事業	沖縄での平和学習、船内研修等を通じ、団体生活や規律を学ぶ派遣事業	4,010	4,010	3,695	6
	2	研修センター管理事業	指定管理による市施設の運営管理に係る事業	26,379	25,339	83,414	1
	3	成人式開催事業	新成人を祝う式典、アトラクションの企画、準備、開催	2,648	2,660	2,727	2
	4	地域活動指導員設置事業	地域、家庭の教育力向上のため社会活動や児童の学習活動等の支援員を設置	7,746	7,746	7,760	3
	5	子ども会育成連合会補助事業	インリーダー研修や子どもまつり、カルタ大会等のイベント開催や組織づくりを実施	3,025	3,025	2,960	5
	6	PTA連合会補助事業	児童生徒の健全な成長とPTA会員の資質向上、行橋市の教育の振興を図る	1,950	1,950	1,950	7
	7	青少年育成市民会議補助事業	青少年の自己の確立を目指すよう地域ぐるみで次代を担う青少年の健全な育成を図る	6,839	6,839	6,839	4
	8						
	9						
	10						
	11						
12							
13							

⑥ 施策全体の今後の方針と展望 (主要部長の意見)	<p>市長の掲げる「人口10万人構想」は、魅力がいっぱい 人が集まるパワフルゆくはし という第5次総合計画の将来都市像に合致するものであり、生涯学習の分野でも、青少年の育成に力を注ぐことで、未来の担い手である若者に活躍できる場を提供したい。</p> <p>特に子ども会育成連合会や少年の船派遣事業など、小学生から20歳前後の若者が携わる事業を通じて、地域とのつながり、ボランティアの精神などを育み、社会性豊かな人格形成を図りたい。</p>
---------------------------------	---

⑦ 総合計画審議会からの意見及び指摘事項等	<p>現在も夜間パトロールを実施していただいているが、行橋駅周辺では夜間に少年がたむろしている場面を目にすることがある。パトロールの効果を上げるために民生委員や福祉分野等の他の団体とも連携を図ったり、パトロールの方法を工夫したりしてはどうか。やはり駅周辺というのは「街の玄関口」であるので、取り組みの強化をお願いしたい。</p> <p>また、「少年の船」の参加者が以前より減少傾向にある。行き先や旅行日程等の見直しを行うことによって、参加者が増加していくように努めてもらいたい。</p>
--------------------------	---

⑧ 施策に対する市の最終方針	<p>青少年を取り巻く環境は厳しいものがあり、家庭・学校・地域のより一層の連携が求められている。その「橋渡し」が生涯学習課の役割であろうと考えている。</p> <p>青少年の非行防止のための街頭補導は、22名の少年補導員を中心に月4回の夜間及び日中の補導活動、月1の乗車マナー向上運動そしてこすもっぺや今井祇園などイベントにおいても補導活動を行っている。今後は行橋警察署と合同する回数を増やしたり、保護司会や中高の教職員らを巻き込んだ街頭補導を行っていききたい。</p> <p>少年の船派遣事業は、5万円を超える参加費のため経済的に余裕のある家庭の子しか参加できないとの声がある。また沖縄を訪問することに大きな意味があるとの意見もある。今後事業の目的をどこに置くのかも含めて、訪問先や旅行日程等を見直していきたい。</p>
-------------------	---